

大阪市立大学大学院創造都市研究科
e-デモクラシー研究会/重点研究共生社会班・都市基盤班

「e-デモクラシーの発展にブログは有効か」

2004・2・11

大阪弥生会館

近 勝彦 (CHIKA Katsuhiko)

dark-blue@star.nifty.jp

ブログの背景

知識基盤型経済 (KBE: Knowledge Based Economies) の発展

「情報資本主義」 - > 「知識資本主義」 - > 「精神資本主義」

情報通信基盤の発展

) ブロードバンド環境) 通信料金の低下) グローバルネット

ユビキタス情報環境

) どこでも情報通信) より高度な情報通信基盤

新しい経済社会の潮流

) 少子高齢化) 都市化) 環境社会化

ブログとは(簡単な定義: googleによる)

- Blog (Web LOG: J.バージャー)とは、
- 「基本的にウェブ上で閲覧できる日誌である」
 - ブログを更新する行為は「ブログする (blogging)」といい、
 - ブログを運営する人を、「ブロガー (blogger)」という。
- 「公開日記のようなもので、日常的なことを世界中に分ちあいたいと思ったことを、時間順に載せたもの」
- 「ただ、もっとも多い形式は、ニュースサイトである」

ブログの特徴(一般的なもの)

■ A 古河ニフティ社長の見解

- 従来のHPと比べて非常に簡単(敷居が低い)
- トラックバック・バック機能によって、匿名性を排除できる(プラグインも多様)
- トピックが似ているものを集めてより高度な情報サイト
- を作ることも可能

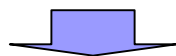
■ B ブロッガーの調査(2003・12)

- ブロッガー」は活発に活動している
- 有料での、広告は出していない(86%)
- 目的は、「楽しむため」(73%)、「書くため」(66%)、「世界とつながりたい」(56%)
-

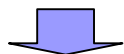
論点2 - コミュニティの形成とその発展は？ 「新しい地域コミュニティはブログから生まれる」

- コミュニティという言葉は、19世紀の終わりから20世紀のはじめにかけて使われだし、米国社会学者によって定義される

- 当時は、地理的空間に重点が置かれてた(特定の地域に住む人々の集団)



- 交通手段や情報通信手段の高度発展により、人々の時空間が拡大



- 地理的共通性だけではなく、関心や性別・人種・宗教性などの共通性によるコミュニティの形成

- 脱地域コミュニティ

- 超地域コミュニティ

論点3 - e-デモクラシーへの寄与可能性？ 「礼節のある市民の意見の発信と集約が可能」

■ 市民主体の政治的コントロールの回復

- @情報・知識の非対称性の打破
- @市民による政府・政治家の監視
- @政治へのコミットメント

■ 市民による経済主体の復権

- @コミュニティ・ビジネスの成立
- @消費者主権の確立

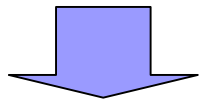
■ 市民本来の自治による社会サービスの実現

- @社会意識の連帯・共有
- @都市文化の創出

ブログ
というメディアの
応用
と
集積
による
都市文化の
創造

提案 「大阪ブログサイト」の提案

- 大阪の語り部などが集合するサイトの構築
- 大阪についてののよるず発表
- 大阪の知の劇場



- 無数の人々の考えや思いを集積し、そこから
- 新しい「何か」を生み出すこと

ご清聴ありがとうございました

- 大阪市立大学大学院創造都市研究科
- 都市ビジネス専攻
- システム・ソリューション研究分野

■ <http://www.gscs-ss.com/J/>

